

39人が新たなスタート

平成17年度 町成人式

久しぶりの再会を喜びあう

8月15日、「平成17年度町成人式」が開かれ、昭和60年

4月2日から昭和61年4月1日までに生まれた39人が大人の仲間入りをしました。

文化センターで開かれた式典では、町長あいさつ、来賓祝辞に続いて、新成人が中学3年生のときの担任、安達才智さん（根雨）が激励の言葉を述べました。

安達さんは、「一生の基盤となる今の時期、自分の道を自分の力で選択して人生を充実させて欲しい」と話しました。

また、新成人代表として、田淵太一さん（三谷）と小山悠貴さん（下榎）がそれぞれあいさつ、田淵さんは「これからも生まれ育ったふるさとを愛し、社会に貢献したい」、小山さんは「今

は県外にいるが、将来また日野に帰ってきて一花咲かせたい」と決意を述べました。

式典の後には、有限会社地域未来代表取締役 杉原幹雄さん（安原）を講師に迎えて、「仕事をする、ということ」と題して記念講演が行われました。杉原さんは、現在の仕事に就くまでのいろいろな職業経験などを通して、「社会人になっ

てすぐには自分が希望する仕事には就けないと思うが、今の自分に与えられている仕事の意味を見いだし、目的意識を持って仕事をして欲しい」と思いを語りました。

その後会場を開発センターに移して懇親会が開かれ、新成人は懐かしい学校給食を食べながら友達や恩師との再会を喜び合いました。





「いろんな経験を積んでほしい」と語る杉原幹雄さん



全員で町民憲章を唱和



恩師の安達才智さんからエール



懇親会は懐かしの味で



新成人の抱負を述べる田淵太一さん（写真左）と小山悠貴さん